

*L49 ANSWER *23 OF WPIDS COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD
ACCESSION NUMBER: 93-147046 [18] WPIDS
DOC. NO. NON-CPI: N93-112533
TITLE: Ceramic heater unit for toner fixation - has comb
tooth-shaped electrode whose surface is used as heat
conducting surface NoAbstract.
DERWENT CLASS: S06 X25
PATENT ASSIGNEE(S): (UBEI) UBE IND LTD
COUNTRY COUNT: 1
PATENT INFORMATION:

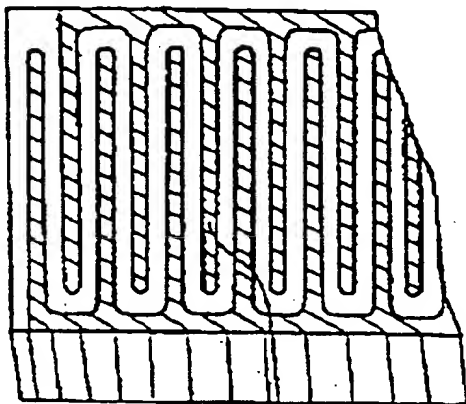
PATENT NO	KIND	DATE	WEEK	LA	PG	MAIN IPC
JP 05082304	A	930402	(9318)*		3	H01C007-02

APPLICATION DETAILS:

PATENT NO	KIND	APPLICATION	DATE
JP 05082304	A	JP 91-311253	910918

PRIORITY APPLN. INFO: JP 91-311253 910918
INT. PATENT CLASSIF.:

MAIN: H01C007-02
SECONDARY: H05B003-14
GRAPHIC INFORMATION:



4

BASIC ABSTRACT:
JP05082304 A UPAB: 931112
Dwg. 3/3
FILE SEGMENT: EPI
FIELD AVAILABILITY: AB; GI
MANUAL CODES: EPI: S06-A06A; X25-B01B

特開平5-82304

(43) 公開日 平成5年(1993)4月2日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 1 C 7/02

7371-SE

H 0 5 B 3/14

B 8715-3K

A 8715-3K

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21) 出願番号 特願平3-311253

(22) 出願日 平成3年(1991)9月18日

(71) 出願人 000000206

宇部興産株式会社

山口県宇部市西本町1丁目12番32号

(72) 発明者 本永 重之

東京都港区赤坂1丁目12番32号 宇部興産株式会社東京本社内

(72) 発明者 花木 基治

山口県宇部市大字小串1978番地の5 宇部興産株式会社無機材料研究所内

(72) 発明者 倉橋 優

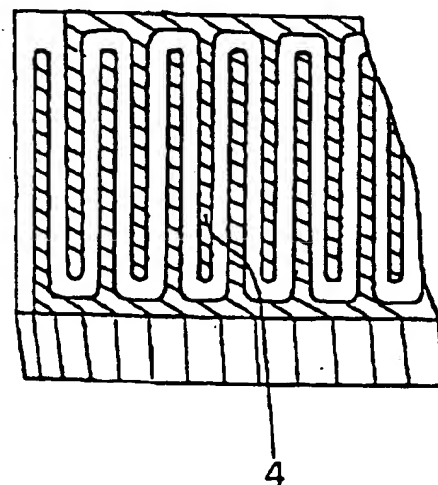
山口県宇部市大字小串1978番地の5 宇部興産株式会社無機材料研究所内

(54) 【発明の名称】 セラミックヒータユニット

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 トナー画像加熱定着装置に使用できるセラミックヒータユニットを提供することにある。

【構成】 正の抵抗温度特性を有する半導体材料からなるセラミック板の一方の面に対向する櫛歯状電極4を形成し、該セラミック板の櫛歯状電極面が加熱伝達面となるように支持台と一体化したセラミックヒータユニット。



として作用する。さらにまた絶縁体として役立てることもできる。高速機では加熱体からの単位時間当たりの熱量の受量が少なくなるため、トナー定着温度に達するためにはトナーを加熱する圧接幅を広くする必要があるが、この場合でも熱容量はそれほど大きくなり、高速定着にも十分に対応することができ、しかも消費電力が小さい。

【0010】

【実施例】以下に実施例を示し、本発明をさらに具体的に説明する。チタン酸バリウム系半導体磁器からなる板状のPTC焼結体の片面に、所定の特性が得られるパターンでA1ペーストをスクリーン印刷し、焼き付けることにより図3に示すような対向する櫛歯状電極4を、また焼結体の両側面に前記櫛歯状電極に電気的に接続する電極をローラ転写によって形成しPTC素子を作成した。それに入出力端子5を貼り合わせ長手方向の端から取り出す。このPTC素子の下面及び入出力端子との面に、シリコンコンパウンド3を塗布して、ステンレスからなる支持台2に該PTC素子複数枚を絶縁シート6に介装、連接して接着支持した。なお、入出力端子5には突起が設けられており、この突起部で電極と電気的に接

触している。

【0011】

【発明の効果】前述したように、本発明によれば昇温特性に優れ、電源制御手段を必要とせず、しかも高速定着ができ、消費電力が小さいトナー画像加熱定着装置用ヒータなどに好適に使用できるセラミックヒータユニットが得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のセラミックヒータユニットの外観斜視図である。

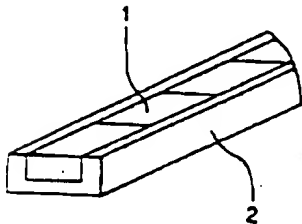
【図2】図1の縦断面図である。

【図3】本発明を構成する板状のPTC素子1の斜視図である。

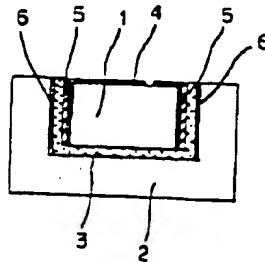
【符号の説明】

- 1 PTC素子
- 2 支持台
- 3 接着剤
- 4 櫛歯状電極
- 5 入出力端子
- 6 絶縁シート

【図1】



【図2】



【図3】

